

対ジンバブエ技術協力(1980年～2014年)

当国の経済・社会の発展に寄与する人材を育成するため、行政、農業、鉱業等の幅広い分野において、毎年多くの研修員を日本に受け入れており、2014年度までの研修員数は1,620名にのぼっています。

また、当国の医療、農業開発、電気、水供給、道路等に係るインフラ開発等に向け、必要な機材供与を含め多くの日本の専門家や調査団の派遣を行っており、特に、感染症対策、HIV/AIDS予防総合対策については、確実な成果を上げるため集中した技術協力プロジェクトを行ってきました。

さらには、ボランティアとして、これまでに498名の日本の若者が様々な分野で地域に密着した協力活動を行っており、現在19名(6月末時点)が各地で活躍しています。

日本政府は、これらの技術協力の実施に関し、これまでに総額約204億円の支援を行っています。

研修員受入 (名)	専門家派遣 (名)	調査団派遣 (名)	協力隊派遣 (名)	開発調査 (件)	技術強カプロジェクト (件)	機材供与 (億円)	留学生受入 (名)	総額 (億円)
1,620	86	578	498	18 ^(注)	3	8.6	168	203.8

(注)1991年以降

[技術協力プロジェクト]

- 1996年～2001年 感染症対策
- 2003年～2006年 ハラレ市マブク/タファラHIV/AIDS予防総合対策
- 2005年～2008年 マシngo州HIV/AIDS母子感染予防プロジェクト

[開発調査(1991年以降)]

- 1991年～1992年 地方電気通信網整備計画
- 1991年 クエン酸工場建設計画
- 1991年 プロジェクト選定調査
- 1991年 マクドウガル地域資源開発計画
- 1992年～1994年 マコンデ地域資源開発計画
- 1993年～1995年 ムニヤティ川流域農業開発計画
- 1995年 マニヤメ川上流水質汚染管理計画
- 1995年～1997年 太陽光発電地方電化計画
- 1995年～1997年 スネークヘッド地域資源開発計画
- 1996年 マニヤメ川上流域水質汚濁対策計画
- 1996年 ザンビア・ジンバブエ・ザンベジ河チルド橋建設計画
- 1997年～1999年 ムニヤティ川下流農業開発計画
- 1997年～1998年 中小企業振興計画
- 1998年～1999年 グワーイ・ベンベジ地区森林保全計画(リモートセンシング・地理情報・社会救済)
- 1998年 太陽光発電地方電化計画
- 2012年～2013年 チトウンギザ市上下水・廃棄物管理改善計画
- 2015年～2017年 貧困削減に資するコミュニティ・ベースド・ツーリズム計画プロジェクト
- 2015年～2017年 地理空間情報データベース整備プロジェクト

